



生活の信頼を理解する

エステートプランナーは、不動産の所有権を保持する方法を検討する際、実行可能なオプションとして「リビングトラスト」を推奨することがよくあります。プロパティがリビングトラストに保有されている場合、タイトル会社は取引を促進するために特定の要件を持っています。以下は包括的なものではありませんが、多くのよくある質問に対する回答です。以下に回答されていない質問がある場合は、肩書き会社の担当者がお手伝いできる場合がありますが、弁護士に相談することもできます。

信託の当事者は誰ですか?

典型的な信託は、夫と妻が受託者であり、子供たちとともに受益者である家族信託です。信頼を確立し、財産をそこに移す者は、信託者または開拓者として知られています。入植者は通常、受託者として彼ら自身を任命し、彼らは生涯を通じて主な受益者です。彼らが亡くなった後、彼らの子供と孫は通常、信託が存続する場合は主要な受益者となり、受益者は信託が閉鎖する場合は直接信託から分配金を受け取ります。

Living Trustとは何ですか?

生体間トラストと呼ばれることもあるリビングトラストは、開拓者の存続期間中に作成され(死後の遺言によって作成されるのではなく)、通常は死去した後、トラストの本体が受益者に配布されます。

トラストは不動産の所有権を保持できますか?

いいえ。受託者は、信託に代わって資産を保有しています。

トラストは私の財産を保持するための最良の方法ですか?

あなたの弁護士または会計士だけが質問に答えることができます。信託に資産を保有する一般的な理由は、死亡税を最小限に抑えるか延期すること、時間のかかる検認を回避すること、特定の無担保債権者による攻撃から資産を保護することです。

私の財産を信頼することにより、どのような税金を避けることができますか?

既婚者は通常、資産のかなりの部分を課税から免除することができ、最初のパスが死んだ後に税を延期することがあります。行動を起こす前に、弁護士または会計士に確認する必要があります。

トラストに保有されている物件をホームステッドにできますか?

はい、プロパティが別の条件を満たしている場合。

受託者は財産に対してお金を借りることができますか?

受託者は、信託の条件で許可されているあらゆる行動をとることができ、典型的な信託契約は、受託者に不動産を借りたり、妨害したりする権限を与えます。ただし、すべての貸し手が信頼できる物件に貸し出すわけではないので、最初に貸し手に確認してください。

他の誰かが「信頼して」私のために肩書きを保持できますか?

タイトル保持者として自分の名前を表示したくない一部の人々は、第三者の受託者と私的な取り決めをします。ただし、そのような取り決めは違法となる場合があり、資産を譲渡または借用する権限を与えられているのは記録の管財人だけであり、公認保険会社は、行動していない管財人からあなたを保護できないため、常に非推奨です。受託者との私的な合意の存在にもかかわらず、あなたの望みに従ってください。